

再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局 地方道・環境課
担当課長名：吉崎 収

事業名 地域高規格道路 <small>ふくやまかんじょう</small> 福山環状道路 一般県道 <small>つのこうやまもり</small> 津之郷山守線	事業区分 地方道	事業主体 広島県
起終点 自：広島県福山市瀬戸町 至：広島県福山市駅家町	延長 8.9km	
事業概要 一般県道津之郷山守線（福山西環状線）は、福山都市圏の外郭環状軸を形成する主要幹線であり、国道182号、国道486号と合わせて、福山都市圏の骨格を成す「福山環状道路」として地域高規格道路に指定されており、延長約8.9kmの4車線（暫定2車線）道路である。		
H11年度事業化 H12年度都市計画決定 H16年度用地着手 H一年度工事着手		
全体事業費 約700億円 事業進捗率 約4% 供用済延長 ーkm		
計画交通量 12,300台（有料） 18,000台／日（無料）		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.7 (残事業) 1.8	総費用 (残事業)/ (事業全体) 456/491億円 (事業費：453/488億円) (維持管理費：3.1/3.1億円)
総便益 (残事業)/ (事業全体) 828/828億円 (走行時間短縮便益：667/667億円) (走行経費減少便益：116/116億円) (交通事故減少便益：44/44億円)		基準年 平成21年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.0（交通量+10%） B/C=1.6（交通量-10%） 事業費変動：B/C=1.6（事業費+10%） B/C=2.0（事業費-10%） 事業期間変動：B/C=1.7（事業期間+20%） B/C=1.9（事業期間-20%）		
事業の効果等 ・都市部へ集中する交通の分散による交通混雑の緩和 ・府中市を中心とする内陸部地域との連絡の強化 ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路整備区間指定 福山市瀬戸町～福山市駅家町H10.10 9Km）		
関係する地方公共団体等の意見 合併支援道路に位置づけられており、福山市及び福山市など7市1町の首長等で構成される備後地区建設促進協議会より早期整備の要望を受けている。		
事業評価監視委員会の意見 ・事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続は妥当である。 ・広島県知事の方針：委員会の意見を受けて、事業継続とした。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 福山市は平成15年2月に内海町、新市町、平成17年2月に沼隈町、平成18年3月に神辺町と合併。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成11年度に事業化され、用地進捗率約15%、事業進捗率約4%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地交渉の難航により用地取得に時間を要している。引き続き用地交渉を行うなど用地取得促進に努め、早期に工事着手できるように事業進捗を図る。		
施設の構造や工法の変更等 橋梁等の構造物設計において、橋長縮小等の経済的となる検討を行っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の事業の効果及びコスト縮減等の内容、事業評価監視委員会における審議、知事の方針を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。